

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

西日本短期大学 実施報告書



実施主体 西日本短期大学保育学科 富永ゼミ

実施内容 令和5年10月21日～12月27日 学園祭から啓発活動

①事前に取り組んだ内容

授業で児童虐待について学び、ゼミでさらに理解を深めた。

家庭内では、子ども虐待とDVが同時に起こりやすいことから、オレンジリボンとパープルリボンを合わせた「オレンジ&パープルリボン運動」として啓発運動を企画。

大空をメッセージ入のハートが無数に飛んでいく壁面装飾を掲示し、メッセージカードも手造りした。オレンジとパープルを合わせたリボンも製作した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

10/21の学園祭において、校舎エントランスに壁面装飾作品とキャンペーンポスター、オリジナルの説明ポスターを掲示。来場者にメッセージを書いて貼付してもらう。

参加者にはオレンジリボンまたはオレンジ&パープルリボンをプレゼントした。メッセージカードでいっぱいになった壁面とポスターはその後約2ヶ月余掲示した。

③オレンジリボン運動を終えて…

大学の授業で、これまでは知らなかったような虐待の実態を知って、保育者をめざす私たちができたいことをしたいと思うようになった。

子育てに悩む人の中には、自分でも気づけない中で虐待の状態になってしまう人も多いとわかり、保育者が保護者の気持ちを理解して支えになることで、自然に虐待を防ぐこともできると思った。

みんなで作ったメッセージカードに、それぞれの思いを書いてもらい、外国人の方々も自分の国での経験から暴力反対の気持ちを書いてくれた。子どもと女性をはじめ、誰も暴力の被害に遭わないことは、世界共通の目標だ。

